

必ずお読みください

静脈麻酔薬（プロポフォール）について注意事項とお願い

当センターでは上部内視鏡検査時の苦痛軽減の目的で、ご希望によりプロポフォールという静脈麻酔薬が使用できます。使用量は年齢・体重に合わせて医師が決めます。

プロポフォールの副反応には①呼吸抑制②循環機能抑制③脱抑制があります。

*呼吸・循環機能抑制とは、呼吸が浅くなる・血圧が下がる・不整脈の出現などが考えられ、検査中はモニターを装着し、観察をしながら必要に応じて処置を行います。

*脱抑制とは脳の抑制機能が失われ、感情や欲求が抑えられず、暴れるなどの状態を指します。暴れることにより、処置台からの転落の危険性や検査が安全に行えない可能性があります。この場合、安全性を最優先に考え、上部内視鏡検査を中止する、もしくは麻酔を覚ましてから再度行う場合があります。

尚、プロポフォールの効果には個人差があり、必ず効果があるという保証はありません。「必ず眠らせてほしい、眠れるように多く使ってほしい」というご希望にはお答えできませんが必要により追加投与することが可能です。また、副反応によりプロポフォールの薬剤効果が得られない場合や検査が中止になった場合もプロポフォール料金の返金は出来かねますのでご了承ください。

以下にあげる方は、安全性を考慮し使用できません。

●80歳以上の方（原則として）

→プロポフォール投与による唾液誤嚥、転倒リスクを考慮し使用できません。

●卵・大豆アレルギーのある方

→アナフィラキシー症状を起こす報告がされているため使用できません。

●妊娠中・授乳中の方

→プロポフォールが胎児へ移行し、新生児の呼吸抑制が報告されているため使用できません。

●過去に脱抑制となり医師の判断で使用できないと言われた方

以上をご理解いただいたうえで、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

内視鏡・健康管理センター